

下野新聞
認知症カフェプロジェクト
過去の特集はこちら！



Vol.27 「もの忘れ外来」とは

9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。9月は「世界アルツハイマー月間」と定められ、認知症とその症状に関し理解を広げる活動が行われています。那須赤十字病院で「もの忘れ外来」を開設している伊藤雅史脳神経内科部長に診療内容や認知症患者の過ごし方について伺いました。

企画制作/下野新聞社ビジネス局

下野新聞

認知症カフェ

プロジェクト2024



もの忘れ外来受診基準 チェック項目

もの忘れや認知症が心配な場合はお早めにご相談ください。

☐ 同じ話を何度もする

☐ 時間や日にちが分からなくなった

☐ だらしくなった

☐ 夜中に急に起き出して騒いだ

☐ 置き忘れやしまい忘れが目立つ

☐ 慣れた道でもよく迷うようになった

☐ ささいなことで怒りっぽくなった

診療の中で重視しているのは、老年性うつや慢性硬膜下血腫、甲状腺機能低下症など治療方法のある認知機能障害を伴う病気を見逃さないことです。こうした病気の可能性があれば、アルツハイマー型認知症などの診断になり、対症療法や介護の相談に乗ります。

病気を見過ごさない

多くの患者さんは家族に連れられて来訪します。本人は忘れっぽくなっていることに気付いていないので、なぜ病院に来る必要があるのかと不安を抱えています。不安感を拭い去るために、まず生活の中で困っていることを丁寧に聞き出し、その後も忘れテストをします。点数が低かったら「うまくできませんでしたか」と尋ねながら、その他の検査につなげます。認知症看護認定看護師らとチーム医療で取り組んでいます。月2回完全予約制で診察していますが、たくさんご予約をいただいています。

加齢によるもの忘れは、物事の断片的な一部分だけをうかり忘れますが、思い出すことができます。一方、認知症によるもの忘れは、物事の全体を覚えておらず思い出すことも困難です。また認知症は質問に対して覚えていなくても取り繕って適当に答えることがあります。認知症のもの忘れは必ず進行するので、忘れっぽさに気付いたらまず認知症を疑い、もの忘れ外来や認知症外来を受診していただく必要があります。

住み慣れた家で限界ギリギリまで過ごす、ということが患者にとって幸せである場合も多いとは思いますが、思わぬ事故を起こしたり事故に遭ったりする可能性もあります。安全に生活することを一番考えて自宅を過ごす、または介護施設に入居することを選択してほしいです。私たちはその選択に対してできる範囲で手伝うことに重きを置いています。



日本赤十字社 那須赤十字病院
脳神経内科部長
伊藤 雅史 先生
1973年北海道札幌市生まれ 獨協医科大学卒業

忘れっぽさに気付いたら受診を



認知症患者とその家族との信頼関係を大切にする伊藤医師（左）と白井愛海（いとうみ）認知症患者認定看護師＝那須赤十字病院

家族の中には「認知症の進行が止まる薬をください」「夜になつても寝ないので睡眠剤をください」と、自分たちが煩うことなく医療の力でなんとかしてほしいと要求する人がいます。これは私の倫理観ですが、患者は望んで認知症になつたわけではなく、仕事も子育ても頑張つてまい進して、一段落着いてぼーっとした日々を過ごしていたら、認知機能が衰えてきた、という事が多いと思うので、子ども世代は頑張ってきた親の老後が幸せで楽しいようにしてほしいですね。

何もすることがなくて、日が暮れるのを待ただけの生活をしている高齢者が多く、診療の時に「遊びに行く予定を組みました」と聞いても「前の診療から何もしていないし、予定もありません」と答える方がいます。「それでは認知症が進んでしまいますよ」と説明します。

「脳トレ」として最も良いのは、無意識に背筋が伸びて頭張れる、趣味のサークルや安心して話ができる場所への参加だと思いますが、県北地域ではその数々が少なかったり自宅から遠かったりします。また、ものごとを外に出や集まりに参加することが

苦手な人もいます。そうした場合は、家族や知り合いが高齢者を訪ねたり連れ出したりして、ワクワクするような刺激を与えてください。認知症になつたら家族のふれ合いが増えましたが、それでは認知症が進んでしまいますよと説明します。

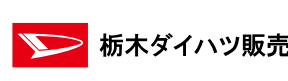
大切な「ワクワク」



とちぎ和牛・ゆめポーグ
合挽ハンバーグ(150g×5個) 生だれ付き
40名様にプレゼント

▼応募方法 はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、紙面の感想などを添えて320-8686 下野新聞社ビジネス局「とちぎ和牛・ゆめポーグ」係まで応募してください。9月30日消印有効。賞品の発送をもって発表とします。応募いただきました個人情報には、賞品発送・意見分析・下野新聞社主催および後援事業のご案内に使用させていただく場合があります。【下野新聞社ビジネス局】

私たちは「下野新聞認知症カフェプロジェクト」を応援しています。



企画協力



応援医療機関

赤羽医院、宇都宮リハビリテーション病院、菅藤病院、新宇都宮リハビリテーション病院、杉村病院、長島医院、那須南病院、根本医院、真岡中央クリニック、間毛病院

ご案内

人間ドック

受けて
みませんか？

オプションにより
金額は変わります



基本コース

¥44,000

各種オプション、女性のオプション、
画像診断オプション(オプションは別料金になります)

レディースドック

¥52,800

骨盤MRI検査、マンモグラフィー検査＋
乳房超音波検査、血液検査

脳MRセット

¥42,900

MRI、MRA、簡易認知機能検査

ロコモ・フレイルドック

¥18,000

問診57項目、立ち上がりテスト、2ステップテスト、
通常歩行速度、インボディ(骨格筋量測定)、握力測定

11月より

新規オプション検査を開始します

MCIスクリーニング検査 ¥24,200

軽度認知障害

ロックス インデックス ¥15,400

脳梗塞・心筋梗塞発症リスク

アミノインデックス ¥30,800

がんリスクスクリーニング＋腫瘍マーカーセット



申込み・
問い合わせ先

那須赤十字病院 健診部 予防医学センター

電話 0287-23-9979(直通)
[13:00～16:00]

メール kensin@nasu.jrc.or.jp

人間ドックの
詳細はこちら



病院祭のご案内

10月20日(日) 10:00～15:00

場所 那須赤十字病院
栃木県大田原市中田原1081-4

共催 那須赤十字病院後援会

入場
無料

イベント盛りだくさん
お気軽にお越し下さい。

